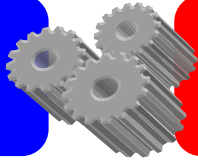


「点検と改善 2006」

～より質の高いODAを目指して～

2005年の「点検と改善」に続く第2弾

ODAの質の改善への
不断の努力



国民に理解され、支持
される効果的なODAへ

→ この「点検と改善」作業を今後も定期的に実施し、国民に説明

★「点検と改善 2006」～今後の取組のポイント

1. 戦略的なODAの実施のための援助政策の企画・立案

体制整備 → 新JICAの詳細設計、国際協力に関する有識者会議の設立
国別援助計画の拡充、「プログラム化」の推進
官民連携の推進、NGOと連携強化 など

2. コスト縮減を通じた事業の効率化

技術協力

JICA事業費全体に効率化目標を設定する など

無償資金協力

コスト縮減のためコミュニティ開発支援無償を積極的に活用

- 学校建設について平成19年度から5年間で平均30%以上のコスト縮減
- 給水・道路分野でも積極的に活用

新JICA発足に伴うコスト削減(←単年度主義の制約がなくなる)

外部の知見を活かした更なるコスト縮減・効率化の提言(平成19年10月目処)

有償資金協力

円借款の手續迅速化、他国・援助機関との手續調和化 など

3. チェック体制の拡充

政策レベル、案件レベルでの評価結果の計画への反映の強化

無償資金協力プロジェクトの事後評価の徹底(第三者の視点を入れて実施)

新JICAに向けた評価・不正防止の体制